各　位

2026年11月11日

会社名　　ｒａｋｕｍｏ株式会社
代表者名　　代表取締役社長グループＣＥＯ　　清水　孝治
（コード番号：4060　東証グロース）
問合せ先　　取締役ＣＦＯ経営管理部長　　石曽根　健太
（TEL　050-1746-9891）

rakumoワークフローがAIエージェントに対応
「rakumoエージェント」正式版の提供開始のお知らせ

rakumo株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長グループCEO 清水孝治、以下 rakumo）は、「rakumo for Google Workspaceシリーズ」のAIエージェント「rakumoエージェント」の正式版の提供を本日より開始しましたので、お知らせいたします。

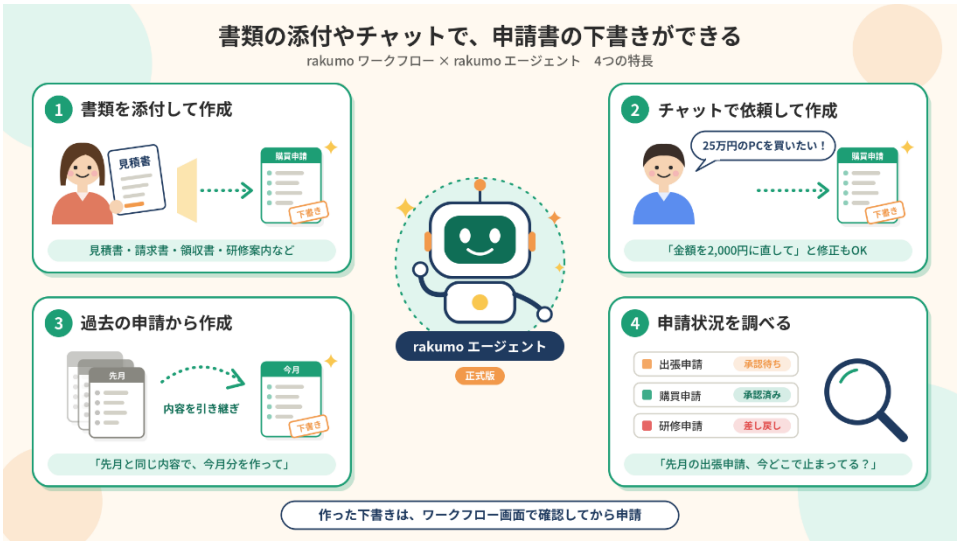
あわせて、電子稟議システム「rakumoワークフロー」に対応したことで、やりたいことをチャットで伝えたり、見積書や請求書などの書類を添付したりするだけで、rakumoエージェントが目的に合った申請書の選択から作成までを支援できるようになりました。

１．背景と狙い

rakumoは「仕事をラクに。オモシロく。」というビジョンのもと、企業の組織改革支援と「次のいつもの働き方」の実現を目指し、サービスの開発・提供を進めています。その取り組みの一環として、「rakumoエージェント」のベータ版の提供を2026年2月にrakumoカレンダーで開始しました。今回はそれに続く第2弾として、rakumoワークフローに対応し、正式版として提供を開始しました。

申請業務では、「どの申請書を使えばよいか分からない」「書類の内容を申請書に転記する手間がかかる」といった負担が日常的に発生しています。近年、生成 AI を活用したバックオフィス業務の効率化への関心が高まる中、当社は申請書の選択や入力にかかる手間を減らすことを目指してきました。

今回の対応により、書類の読み取りや過去の申請をもとに、rakumoエージェントが申請書の下書きを作成できるようになりました。申請者が申請書の選択や入力にかける時間を減らし、本来の業務に集中できる環境づくりを後押しします。



２．rakumoワークフローにおけるrakumoエージェントの主な特長

申請書選びから書類の読み取り、入力内容の修正、申請状況の確認までを、ひとつのチャットの中で続けて行えるのがrakumoエージェントの特長です。購買や支払いに限らず、研修参加や出張など、日々のさまざまな社内申請に活用できます。

① 書類を添付するだけで、内容を読み取って下書きを作成

見積書や請求書、領収書、研修の案内、航空券の予約確認などの書類（PDF / JPEG / PNG）を添付し、「この見積書で申請したい」と依頼するだけで、記載内容を読み取って申請書の下書きを作成します。書類からrakumoワークフローの申請書へ転記する手間を減らせます。



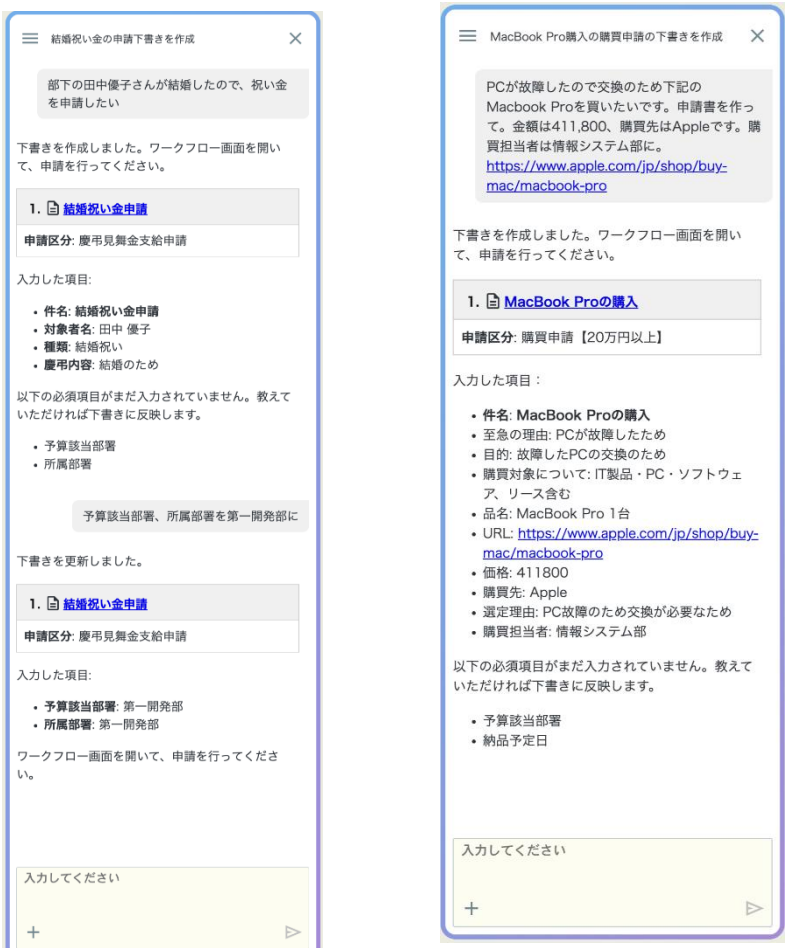
＜キャプション＞

（右）見積書を添付して依頼するだけで、金額に合った申請書を選び、読み取った内容で下書きを作成

（左）rakumo ワークフローの画面で下書きの内容を確認してから申請

② やりたいことを伝えるだけで、目的に合った申請書を提案

「25万円のPCを買いたいので申請したい」「有償のセミナーに参加したいので申請を作って」のようにチャット画面から入力すると、申請書の名前が分からなくても、rakumoエージェントが目的に合った申請書を提案します。金額や理由など依頼内容から読み取れた項目は入力した状態で下書き保存されます。「金額を2,000円に直して」のように、続けて修正を依頼することも可能です。



＜キャプション＞

（左）祝い金などの申請も、チャットで依頼するだけで下書きを作成。足りない項目は続けて入力して反映

（右）金額に合った申請書を選び、依頼内容をもとに目的や選定理由、金額まで入力

③ 「前回と同じ内容で」の一言で、過去の申請を引き継いで作成

名刺の増刷や備品発注など、定期的に発生する申請も「前回と同じ内容で申請したい」と伝えるだけで、過去の申請内容を引き継いだ下書きを作成します。過去の申請を探して同じ内容を入力し直す必要はありません。

④ 申請書の検索や申請状況の確認もチャットで

「ノートPCを買うときはどの申請を使えばいい？」「未処理の申請書はある？」のようにチャットで入力するだけで、使える申請書や申請の進み具合を確認できます。rakumoワークフローの画面を探し回らずに、必要な情報にたどり着けます。

■安心して使える設計

rakumoエージェントが行うのは、申請書の下書き作成までです。内容の最終確認や、申請（提出）・承認・却下・差し戻しといった操作は、これまでどおりユーザーが rakumoワークフローの画面上で行います。エージェントが申請を進めることはないため、社内の運用ルールやガバナンスを保ったままご利用いただけます。

また、エージェントは操作するユーザーの権限の範囲で動作するため、扱えるのはそのユーザーが利用・閲覧できる申請書に限られます。rakumoエージェントとのチャット内容や添付した書類、ワークフローのデータがAIモデルの学習データとして利用されることはありません。

■ご利用方法

rakumoワークフロー（Google Workspace版）をご利用中のお客様は、管理画面の「AI機能設定」でAI機能およびrakumoエージェントを有効にすることで、追加料金なしでご利用いただけます。

■rakumo for Google Workspaceシリーズについて

rakumo for Google Workspaceシリーズは、Google Workspaceを進化させるクラウド型拡張ツールです。Google Workspaceのユーザー管理、認証、セキュリティ機能を共通利用した、誰もが直感的に使えるサービスです。現在rakumoシリーズは、数名から大規模までの2,600社以上、126万ライセンス超のお客様にご利用いただいております。

【rakumo for Google Workspace】

・rakumo カレンダー（グループカレンダー）
・rakumo コンタクト（Web 電話帳）
・rakumo ボード（社内掲示板）
・rakumo ワークフロー（電子稟議）
・rakumo キンタイ（勤怠管理）
・rakumo ケイヒ（経費精算）

以上

【rakumo 株式会社について】

法人名：rakumo株式会社
代表者：代表取締役社長グループＣＥＯ　清水 孝治
事業内容：企業向けグループウェア製品「rakumo」や「aloop」の開発・販売等
ＵＲＬ：https://corporate.rakumo.com/

【本リリースに関するお問合せ先】
rakumo 株式会社 IR 担当　　E-Mail：rakumo-ir@rakumo.com